令和２年　春の叙勲・危険業務従事者叙勲
～受章者をご紹介します～

瑞宝双光章

教育功労

大川　宏紀さん

大光寺地区　78歳

昭和39年から38年間、小学校の教員を務められ、地域の子どもたちの教育に尽力されました。

「今回受章したことで、沢山の方からお祝いをいただき大変感謝しております。いろいろなことがたくさんありましたが、先生方や保護者の皆さま、地域の方々に恵まれ、とても楽しい教員生活を送ることができました。教え子たちが訪ねてきて、自分の仕事や家族のことなど、成長した姿を見せてくれるのがなによりうれしいです。今後も教え子たちの成長を見守っていきたいです。」と笑顔で話されました。

瑞宝双光章

教育功労

栗林　欣一さん

岩館地区　80歳

昭和39年に教員としてスタートし、37年間勤められました。その中でも特に思い出深いということで、社会教育の10年間について、熱く話してくださいました。

「社会教育を通して、遊びの心、感動する心の大切さを知りました。以来、“子どもの喜ぶ学校づくりは、まず楽しい職場づくりから”をモットーに学校経営にあたってきました。今回の受章については予想外のことで、自分自身大変驚いていますが、たくさんの方々のご協力があって今の自分がある、ということに深く感謝しています。」と笑顔で話されました。

瑞宝単光章

消防功労

樋口　辰美さん

日沼地区　72歳

「小さいころから消防団員として活躍する父の背中に憧れを抱いていました。」という樋口さん。29歳の時から平成29年３月までの約40年に渡り、消防団員として活動、その内６年間は副団長を務められました。

「尾上地区のりんご倉庫で大きな火災があり、一晩中交代で放水しての消火活動が今でも印象に残っています。今回の受章は同僚や先輩の指導と、地域の方々の協力によるものだと思います。体調を崩してしまいＯＢとして手伝えないのが残念です。後輩の皆さんには頑張って地域のために活動してほしいです。」と話されました。

瑞宝単光章

消防功労

工藤　義昭さん

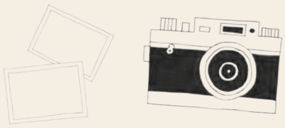
新屋町地区　68歳

昭和45年から42年間の長きにわたり、平賀・尾上地区消防事務組合の消防吏員として、地域住民の生命・身体・財産を災害から守るため、消防活動に従事されました。

今回の受章について「先輩の指導、同僚や部下の協力、そして家族に感謝したいです。仲間と家族がいなければここまでやってこられなかった。これからも地域の安全安心を守るため町会活動に力をいれていくとともに、地域の方や仲間との交流をさらに深めていきたいです。」と話されました。

平川 ノスタルジック 散歩 vol. 6

今年も旬の山菜が美味しい季節がやってきました。山菜採りに行かれるという方も多いのではないでしょうか。子どもの頃の記憶で、たけのこやみずの皮むきを手伝っていたことを思い出します。美味しい山菜料理を食べるためには、皮むきやあく抜きといった多くの手間暇が必要であることを、手伝いを通して学んでいました。



今回は、裏表紙に特別編があります！

＃たけのこ　＃みず　＃うど　＃山菜料理